



2021年度  
複十字シール圖案  
デザイン:あさいとおる氏

# 健康の輪



健康日本21

編集●全国結核予防婦人団体連絡協議会事務局(結核予防会内) 題字●初代会長 廣瀬勝代

## 第72回結核予防全国大会開催 秋篠宮皇嗣妃殿下おことば



本日、「第七十二回結核予防全国大会」が、「結核対策の今」感染症の新たな局面を迎えて「」をテーマにオンラインで開催されます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大したため、静岡県で開催が予定されていた大会が中止になりました。本年の大会は京都府で実施することになっておりましたが、感染の状況をふまえ、オンラインで本部のある東京と各支部をつないでおこなう形で開催することとなりました。大会に向けて準備をしてこられた皆さまとお会いできないことは残念でございますが、全国の皆さまとともに大会に参加できますことをありがたく思い、多くの関係者に感謝いたします。

本大会において、このたび、第二十三回ならびに第二十四回の「秩父宮妃記念結核予防功労賞」の表彰を受けられる皆さまに、心からお祝いを申し上げます。皆さまが、長年にわたって結核対策に貢献してこられたことに対し、深く敬意を表します。結核対策は、国の内外を問わず、人びとが健康に暮らしていくために、いままなお大変重要な課題です。

日本の結核罹患率は年々低下しているものの、最新の統計である二〇一九年でも、約一万四千人が新たに結核を発症しています。新規登録結核患者の六割以上は、六十五歳以上です。また、若年層の結核患者には外国出生者が多く、特に二十代では、新規登録結核患者の七割以上が該当します。世界に目を向けると、二〇一九年において約一千万人が新たに結核を発症し、約四百四十万人が命を落としています。

このような状況を改善するため、国内の結核患者の発見や治療に力を入れることに加えて、罹患率が高い国や地域に対して日本の経験を活かした協力をおこなうことが求められています。

昨年は、世界結核肺疾患予防連合、通称「ユニオン」が創立百周年を迎えました。十月には「肺の健康世界会議」が「予防の促進」というテーマのもと、オンラインで開催され、世界各地の結核対策について様々な立場から活発な議論がおこなわれました。こうした機会を通じて結核についての理解が更に進み、世界の人々が結核をなくすために一層力を合わせることができよう希望しております。

今回の新たな感染症の対策では、保健所をはじめとする地域に根づいたネットワークの活用や積極的疫学調査によるクラスター解析など、長年にわたる結核対策の経験が役立てられました。しかし、昨年から今年にかけての厳しい状況下で、通常の健診を受ける人が減り、結核患者の発見の遅れなども懸念されています。一方で、公衆衛生の重要性が幅広く人々に認識されることが、これからの結核対策の基盤を強める機会になることも考えられています。

現在の困難な状況の中、結核予防会をはじめ、医療・保健に携わる人々が、日々、結核対策に尽力していることは心強いことです。私たち皆で、結核を含む感染症に対して正しい知識を得て理解を深め、思いやりを持って適切な行動をとれますよう、心がけて参りたいと思います。

結核予防に関わる皆さまが、これからもご自身の健康に留意されながら、人々の健康を支えるために、大切な役割を果たしていかれることを期待し、式典に寄せる言葉といたします。

## 第72回結核予防全国大会決議

我が国の2019年における結核罹患率は人口10万対11.5まで低下し、22道県は既に10以下の低まん延状態になった。しかしながら65歳以上の高齢者の患者の割合が依然として高く、中でも90歳以上の超高齢者の患者が明らかに増加傾向にある。高まん延国から来日する外国出生者の結核患者は、全体の1割、20歳代においては7割を超えた。世界では、年間1,000万人の患者発生が推定され、2018年の国連高官会議で承認された政治宣言の到達目標に向けて、多分野の連携協力に基づく対策の推進が提唱され実施された。我が国でも入国前スクリーニング制度や医療機関等での言語障壁対応、更に生活状況に応じたきめ細かな対応により患者の早期発見と確実な治療完了のための活動が進められている。

このような中で起こった新型コロナウイルス感染症の世界的流行は、様々な社会活動や経済の停滞を招き人々の生活に甚大な影響を及ぼした。我が国の結核に関しては、受診抑制、健康診断の一時的な中止によって、少なくとも一時的に患者発見が滞ったと考えられ、感染拡大や診断の遅れにつながっていないか、状況の推移を注視す

る必要がある。また、結核病床が新型コロナウイルス感染症のために転用され多くの患者を救ったが、そのことは本来入院が必要な結核患者の医療に一定の影響を与えた。医療従事者や感染者に対しては、偏見や人権が脅かされる事態も発生している。世界のほとんどの国で、患者発見の抑制や治療継続の困難という問題が起こっており、この先5年間に結核による死者が20%増加する可能性が指摘されるなど対策の後退が懸念される。

以上から、本大会は、国及び地方公共団体、医療機関及び結核予防会、全国結核予防婦人団体連絡協議会等の関係団体が力を合わせ、次の4項目について努力することを決議する。

- 一、国内で新型コロナウイルス感染症がまん延する中においても、結核対策の重要性には変わらないことを認識し、超高齢者・外国出生者などのハイリスクグループに対する早期発見や着実な治療完了を図るための対策を、国・地方公共団体・関係機関・国民が一体となって着実に進めること。
- 一、医療機関や保健所等において、新型コロナウイルス感染症の

みならず、必要な結核対策の実施及び医療の提供が適切に行われるように、国・地方公共団体・保健所・医療機関・関係機関等は公衆衛生及び医療体制の整備を図ること。

- 一、新型コロナウイルス感染症の流行の中で、その被害を最小限にとどめるとともに、結核に関する国連高官会議における政治宣言の目標達成のため、日本の結核対策の経験や革新的な技術開発を通して、一層の国際協力を推進すること。
- 一、世界的に市民社会の役割が重視されていることを踏まえ、全国結核予防婦人団体連絡協議会は、国内外の関係団体と連携して、政策決定者へ働きかけるとともに新型コロナウイルス感染症や結核を含めた感染症の予防と感染症に対する偏見をなくすために、市民に対する正しい知識の普及・啓発を推進し複十字シール運動を活性化すること。

令和3年3月2日  
第72回結核予防全国大会

## 第72回結核予防全国大会宣言

新型コロナウイルス感染症の世界的流行の中であって、結核を含めた感染症対策の重要性を全ての国民と世界の人々が共有し、患者中心の予防と医療及びそのための体制づくり、更に感染症に対する偏見や差別をなくすための活動を

推進する。

国連の持続可能な発展目標及び世界保健機関が進める結核終息戦略の目標の達成のために、日本が高まん延期を克服した経験と日本で開発された革新的技術を活かし、感染症対策に関わる国内外の関係

機関と連携しながら、結核対策活動を更に推進する。

以上、宣言する。

令和3年3月2日  
第72回結核予防全国大会

## 第23回秩父宮妃記念結核予防事業功労賞を受賞して(団体)

静岡県結核予防婦人会  
会長 長野 蝶子



この度は、当会が第23回秩父宮妃記念結核予防事業功労賞の栄誉を賜りましたこと、深い感銘とともに、関係者のみなさまに厚く感謝申し上げます。

振り返れば、前年度、静岡県にて予定されておりました第71回結核予防全国大会が新型コロナウイルスの感染拡大により中止となり、さらには京都市において予定されていた第72回大会もオンライン開催へと変更となりました。全世界的にコロナウイルスが蔓延し、厳しい状況下で活動内容も限られています。結核に関する普及啓発を行うことができますこと、改めて尊く有難く感じております。

振返れば、前年度、静岡県にて予定されておりました第71回結核予防全国大会が新型コロナウイルスの感染拡大により中止となり、さらには京都市において予定されていた第72回大会もオンライン開催へと変更となりました。全世界的にコロナウイルスが蔓延し、厳しい状況下で活動内容も限られています。結核に関する普及啓発を行うことができますこと、改めて尊く有難く感じております。

当会は、昭和34年に発足し、60年以上にわたる歴史を歩んでまいりました。県内御殿場市に、かつての総裁秩父宮勢津子妃殿下の御用邸（現「秩父宮記念公園」）があり、隣接する「東山荘」にて毎年、講習会などが行われていたこともあって、当会発足当時から、その熱意と共に活動は大切に脈々と受け継がれてきました。

日常的にコロナウイルスが蔓延するようになって、1年以上が経過しました。未曾有のパンデミックに戸惑いは大きく、先の見えない毎日ではあります。直接的な対面によるコミュニケーションも減

り、本来の婦人会活動の力を発揮できないこともあります。歯がゆくもどかしく感じる1年でありました。しかし、全世界が直面せざるを得ない今こそ、感染症対策の重要性が問われていると感じます。ワクチンの普及や治療薬などの開発は待たれるところではありますが、私たちがこれまでに培った結核予防における知識や活動を大いに役立てることもできると思います。正しい知識とその普及は、どんな感染症対策にも繋がるのだと思います。日々、研鑽を積むことを意識し、そして、先人のみなさまがそうされてきたように、時代に合った新たな活動を展開していけたらと思います。その心持ちを糧に、これからもみなさまと共に歩んでいきましたら幸いと存じます。🐱

## 第24回秩父宮妃記念結核予防事業功労賞を受賞して(個人)

一般社団法人沖縄県婦人連合会  
顧問 平良 菊



今回の受賞に際しまして、恐縮するとともにありがとうございます。活動中にお会いした方々との会話などから私自身多くの事を学ばせていただきました。楽しく充実した活動期間だったことに感謝するものであります。

活動中にお会いした方々との会話などから私自身多くの事を学ばせていただきました。楽しく充実した活動期間だったことに感謝するものであります。

沖縄県結核予防婦人連絡協議会は、平成6年4月1日に婦人の組織的な力と会員間の相互理解により結核予防及び公衆衛生の向上を図り、健康で明るい地域社会の実

現を目指すことを目的として設立されました。

事業内容は、◎母親活動のための指導者講習会、◎結核予防週間街頭キャンペーン、◎複十字シール普及活動、◎九州地区結核予防幹部講習会開催、結核予防関係婦人団体中央講習会参加となっています。

県内講習会は、沖縄県健康づくり財団にご協力いただき、財団理事長（医師）を講師にお招きし開催しました。また婦人会員への健康に関することや情報の発信及びキャンペーンやシール募金を通しての普及活動並びに健康で明るい社会、家族を守る婦人会としての知識を共有しました。結核患者を減らし、現在増えつつある肺がんが喫煙に関係することから身近な家族への注意喚起の大切さを学びました。

当時は、頻繁に講習会を開催し、たまに咳が出る、熱が続くとすぐ結核の二文字が頭をよぎりました。

募金活動は、市町村婦人会長をはじめ会員達の積極的な取り組みと、沖婦連の10日間かけた60社近くの企業廻りでした。

企業訪問の際は、県内の今年度の結核患者数を示すと共に、募金による結核蔓延国への国際貢献の内容もお伝えしました。

活動の趣旨をご理解下さった多くの企業の方や市町村婦人会の温かさ、優しさと笑顔を忘れることは出来ません。唯々感謝です。

私は、平成30年5月1日に会長職を退任しました。支えて下さった方々に感謝し、今後は沖婦連の活動に後方から協力できるよう努めたいと思います。ありがとうございました。🐱

## 3月24日 世界結核デー 結核予防会総裁おことば



3月24日の世界結核デーにあたり、国際結核・肺疾患予防連合の名誉会員であられる、結核予防会総裁秋篠宮皇嗣妃殿下より、おことばを賜りました。

世界中で新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策に貢献してこられているすべての皆さまに、心から感謝の気持ちをお伝えいたします。

この感染症の大流行に対応している間にも、結核は依然として、多くの国と地域で人々が苦しみ、亡くなる主な原因になっています。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的流行を終わらせるとともに、結核をなくすという共通の目標の実現に向けて、私たちと子どもたち、そして将来の世代のために、皆さまと力を合わせ、助けを必要とする人々を支えてまいりたいと思います。

※結核予防会ホームページに掲載されています。（<https://www.jatahq.org/news/2218>）

MESSAGE FROM  
HER IMPERIAL HIGHNESS CROWN PRINCESS AKISHINO  
HONORARY MEMBER OF THE UNION

24 March 2021  
WORLD TB DAY 2021

This World TB Day, H.I.H. Crown Princess Akishino of Japan, an Honorary Member of The Union and Patroness of the Japan Anti-Tuberculosis Association, and a committed global TB advocate, issued the following message:

“I would like to express my sincere gratitude to all the people around the world who have been contributing to the fight against COVID-19.

As we continue to respond to this pandemic, tuberculosis remains the leading cause of death and human suffering in many countries and areas.

Let us work together and support people who need help in achieving our shared goal of eliminating TB as well as ending the COVID-19 pandemic for us, our children, and future generations.”

(原文)<https://theunion.org/news/message-from-her-imperial-highness-crown-princess-akishino-of-japan-honorary-member-of-the-union>

## 「やさしい日本語」でわかりやすい対話を

結核予防会総裁 秋篠宮紀子

昨年、「健康の輪」130号で、必要な情報をわかりやすく伝える試みのひとつとして、地方自治体や放送局が「やさしい日本語」で情報を発信していることを紹介しました。今回は、この「やさしい日本語」を学びつつ、わかりやすい表現で医療・健康に関する情報を伝え、よりよい対話をめざすために大切なことを考えてみたいと思います。

### 災害対応をきっかけに広がった「やさしい日本語」

1995年に起きた阪神・淡路大震災では、緊急情報や生活情報を被災者に伝える言語として、日本語と英語だけでは十分でなかったことが明らかになりました。地域に住む人たちが理解しやすい言語で情報を発信することが大事ですが、緊急時には、複数の言語を提供することが難しいこともあります。そうした中で、弘前大学の佐藤和之教授（当時）は、外国人が理解しやすい「やさしい日本語」を導入すれば、災害の時に役に立つのではないかと考え、研究が始まったそうです。

2011年の東日本大震災の際には、防災無線の言葉が理解できず避難が遅れた人がいたことが報じられ、「やさしい日本語」がさらに注目されるようになりました。

現在は、地震や台風などの災害時の情報や、生活のための情報を「やさしい日本語」で伝える自治体や、さまざまな団体が増えてきています。

### 医療の場での「やさしい日本語」

昨年、医療の現場で「やさしい日本語」を使って外国人の患者を支援する順天堂大学の武田裕子教

授や聖心女子大学の岩田一成教授の活動を知り、書籍等で「やさしい日本語」の多様な取り組みを調べてみました<sup>2)3)4)</sup>。

病院などでは、患者は緊張や不安によって、言葉の壁を平時よりも大きく感じる場合があります。また、自分の症状を医師に伝えたり、医師からの説明を理解したりすることに苦労している人が少なくないようです。そこで、医師や看護師などが「やさしい日本語」を活用して、言葉の面からも患者を支援できる方法を提案しています。

「やさしい日本語」で話すときは、短い文で話し、相手が理解しているのかを確認しながら、話を進めていくことが原則です。相手に分かりやすくするには、いくつかのコツがあります。具体的なコツをまとめたものが図1です<sup>5)</sup>。

「やさしい日本語」では、丁寧さよりも、わかりやすさを優先します。難しい敬語や敬意表現を使わなくても、親身な態度や表情で相手への敬意を表すことができます。相手が上手に敬語を使う人ならば、それに合わせて調整していきます。

カタカナの外来語は、元の言語の発音と違ったり意味が変わっていたりして、通じないことがあります。また、オノマトペ（擬態語や擬音語）は言語によって違い、日本語が得意でない人には通じにくいそうです。そのため、言い換えることができる言葉を用意しておくとういでしょう。

実物や画像、短い映像をスマートフォンやタブレットで見てもらうことも理解の助けになります。重要なことは紙に書いて渡すと、後から見直したり、辞書などで調べて確かめたりできるので、患者

の理解と安心につながります。日本語の文字は、ローマ字よりも、ひらがなが分かりやすく、中国など漢字圏の人なら漢字が便利だそうですね。ただし、日本語と中国語では同じ漢字でも意味が異なることがあるので注意も必要です。

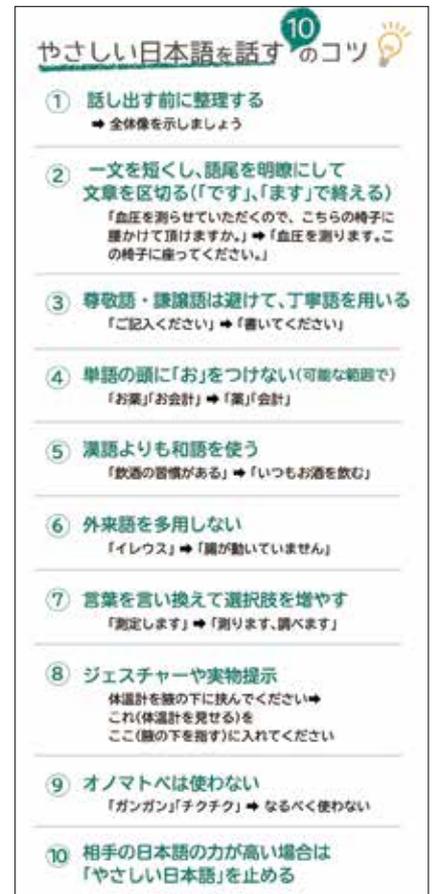


図1：医療×「やさしい日本語」リーフレットより

医療通訳が付くときにも、医療従事者が「やさしい日本語」で説明すると、通訳を進めやすくなるそうです。また、話すときには、通訳者ではなく患者本人を見て話します。十分に伝わっていないように感じたときは、言い回しを変えたり、相手にどう理解したかを話してもらったりすると、コミュニケーションが取りやすくなるということです。

**結核患者に大事なことをわかりやすく伝えるために**

結核研究所の保健師・看護師向けの研修では、「やさしい日本語」の講義がおこなわれています。例えば、外国生まれの結核患者から、服薬支援のメールの内容がよくわからないと問合せがあった事例について、受講生がその対応を考えます。「お変わりありませんか」のような曖昧な問いかけではなく、「毎日、薬を飲んでいますか」「今度、病院へ行くのはいつですか」のように、患者に伝えたいことや聞きたいことを明確にし、文を短くし、患者にわかりやすい文章を書くことを講師が指導しているそうです。

また、結核予防会は、患者や家族向けに結核の治療と服薬を説明する冊子『結核?!でもきっと大丈夫』を出版しています<sup>6)</sup>。この冊子を外国生まれの患者にも読みやすくしてほしいという要望があり、最新版は、「やさしい日本語」版ではありませんが、漢字にはすべてふりがなを付け、文章も短くしました(図2)。

結核を治療するためには、6～9か月間、熱や咳などの症状が治まっても、毎日、複数の薬をきちんと飲み続けることが必要です。治療の途中で服薬を止めてしまうと、体内の菌が抵抗力をつけ、薬が効かない耐性菌を作り出してしまふ危険性があります。そのため、患者が必要な治療期間の最後まで服薬を続けられるよう、入院中も退院後も、病院や地域の専門職の人たちが協力して支援し、見守る「DOTS(ドッツ、直接服薬確認療法)<sup>7)</sup>」という仕組みは大変重要です。患者や家族に結核やDOTSなどについて説明するときにも、「やさしい日本語」の考え方を取り入れることで、病気をよりよく理解し、不安を解消することにつ

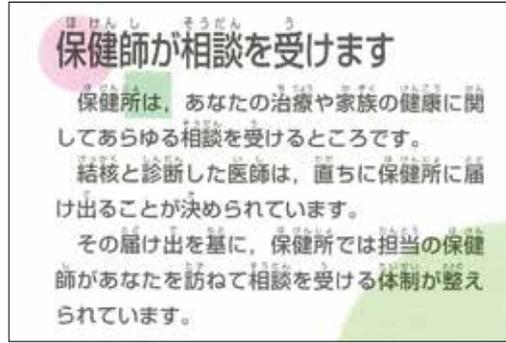


図2:『結核?!きっと大丈夫』より

ながるのではないかと思います。

**わかりやすく伝え合う対話をめざして**

「やさしい日本語」は、日本語を理解することが難しかったり、コミュニケーションについて何らかの困難を抱えたりしている人の助けになる、配慮された言葉といわれています。この「やさしい日本語」の考え方は、いろいろな人と話すときに役に立つと思います。

例えば、高齢になり会話がうまくいなくなってきた人や、体調不良で理解力が低下している人などと接するとき、「やさしい日本語」は助けになるのではないのでしょうか。相手の様子を見ながら、わかりにくそうな言葉を言い換えたり、補足したりするなどの工夫をすると、相手も質問や希望を伝えやすくなるようです。

視覚や聴覚などに障害のある人との会話でも、「やさしい日本語」の言い換えが役に立つ場合があります。点字は漢字がないので、漢語の同音異義語が多用される文章の意味をとりにくいことがあるそうです。また、聞こえにくい人は、話す人の口の動きや顔の表情を見てことばを理解するなどしていますが、同音異義語の読み取りが難しいこともあると聞きました。そうしたことを心に留めて対話をすれば、相手の負担をよい形で減らせるかもしれません。

婦人会の皆さまが、いつも地域

の人々の健康を大切に思い、わかりやすく、やさしい言葉をかけながら結核予防活動をされていることを、喜ばしく思います。これからも、皆さまから活動のお話を伺いつつ、人々の健康に関わる取り組みを一緒に進めていければと思っています。

**参考文献**

- 1) 弘前大学社会言語学研究室・編『増補版「やさしい日本語」作成のためのガイドライン』(2013年)
- 2) 「外国人患者に伝わる『やさしい日本語』」『看護』72巻7号(日本看護協会、2020年)
- 3) 吉開章『入門・やさしい日本語 外国人と日本語を話そう』(アスク出版、2020年)
- 4) 武田裕子、岩田一成、新居みどり『医療現場の外国人対応 英語だけじゃない「やさしい日本語」』(南山堂、2021年)
- 5) 『医療×「やさしい日本語」リーフレット(医療×「やさしい日本語」研究会ホームページより入手) [http://easy-japanese.info/wp-content/uploads/2021/03/yasashiinihongo\\_iryuu.pdf](http://easy-japanese.info/wp-content/uploads/2021/03/yasashiinihongo_iryuu.pdf)
- 6) 永田容子『結核?!でもきっと大丈夫 令和3年改訂版』(公益財団法人結核予防会、2021年)
- 7) お茶の水女子大学ヒューマンライフイノベーション開発研究機構・編『Q&Aシリーズ 炎症・感染症』(2021年)

## コラム 子どものころの夢と現実

埼玉医科大学社会医学  
教授 亀井美登里



### はじめに

人気キャスター辛坊治郎さんがヨット太平洋単独無寄港横断にチャレンジされ、9000キロを70日かけて無事米国西海岸サンディエゴにゴール！今年4月9日65歳の誕生日直前に順風満帆な生活を敢えて捨て、命を懸けて挑まれていた大冒険。半年ほど前、ラジオでこの勇気ある計画を耳にしたとき、正直驚いた。と同時に、長年の夢を果たそうとされていると直感的に感じた。夢を叶えるには、堅実な努力と大胆な勇気が必要だと思う。多忙な毎日の中密かに研鑽されていたその努力と勇気に目を丸くする。

### 「夢」の違い

数年前ある受験勉強アプリ運営会社が行った調査によれば、小学生の頃の夢男子は、1位サッカー選手、2位プロ野球選手・電車の運転手、3位警察官・パイロット、女子は、1位ケーキ屋さん・パティシエ、2位保育士、3位花屋さん・看護師の順である。だが、受験生の夢となると、男子は、1位公務員、2位パイロット、3位ゲームクリエイター・エンジニア、女子の1位は看護師、一方で小学生1位のケーキ屋さん・パティシエはランク外となる（ちなみに受験生女子の2位は保育士・栄養士、3位はヘアメイク）。

受験という人生の試練を目の前にしてか実に現実的な職業が夢となって並んでいる。小学生の頃の夢はい

つの間にかどこかに置き去りにされ、将来の安定的な社会生活を営むための現実的な手段が「夢」に置き換わっている。さらに年を重ねれば、益々日常に忙殺され人生のビジョンを描く精神的な余裕など持てなくなるだろう。子どもの頃の夢を持ち続けることは、至難の業なのだろうか。

私の小学生の頃は手塚アニメ全盛期。恥ずかしながら、夢はアトムになって空を駆け巡ることだった。

### The Power of Teen

コロナ禍による自粛生活で文化祭や修学旅行など学校生活のイベントも中止となり、子ども達の生活も一変している。その中でHondaが子ども達の夢を加速させる応援プロジェクト「The Power of Teen」活動を昨年立ち上げた。夢は自分だけのものではなく、ほかの誰かの喜びに繋がることに自ら気づき、夢の連鎖の先に自身の夢の実現があるという。企画の趣旨は、若者が自身の夢の力を信じて将来に向かって進んで欲しいことだそうだ。

### 時代変化の狭間に揺らぐ

その昔「異邦人」というヒット曲があった。テーマは失恋だったのだが、軽妙な曲に合わせて、「現在、過去、未来」という歌詞に妙に惹かれた。ところが、このフレーズこそ夢のキーワード。古代ギリシャ時代ストア派の哲学者セネカ（紀元前1年頃～65年）によれば、現在・過去・未来という3つの時間がある

も、これらを融合して1つの「時」として生きる人こそ賢者であるという。「時」は大切な人とのつながりであり、季節との触れ合いであり、何気ない日常を過ごす時間の連続でもある。その根底に流れるのは、自分を信じ己の心で感じることの大切さであるという。

### 自身の心で感じる

幼い時に見る夢は無邪気で打算ない。誰もが本来持ち合わせている素直な自身の姿が映し出されている。年を重ねていけばいくほど、現実の厳しさを知る。その経験の蓄積を通して、知恵が生まれ人生の糧として活かされる。この糧は己の心を育てることに繋がっている。セネカの言葉を借りれば、自身の心をどう育てるか、[時]を如何に大事にして生きているかなのだとも思う。

### おわりに

辛坊さんにセネカがいう賢人の後ろ姿がだぶる。洋上一人っきりで怖くなかったかとの質問に、辛坊さん曰く「孤独っていうのは一人でいるときに感じるものではなく、例えば2人である時に目の前の人と気持ちが通じないとか、100人のパーティーに出ていて、自分だけ壁にいるとかの時に孤独を感じる」と。さすが賢人、夢は今もなお続いている。今度は米国から日本へ向けて出航された。私たちもこの夢を楽しませてもらおう。航海のご成功をお祈り申し上げます。🍀

## 全国結核予防婦人団体中央講習会の感想！ コロナ禍における活動再開第一歩シトラスリボン作り！！

群馬県地域婦人団体連合会  
会計 鈴木 春美



みなさん、はじめまして。私は群馬県の鈴木春美です。私にとって「健康の輪」という広報誌は雲の上のような存在の教育・広報機関紙でした。今回原稿依頼を頂き掲載させていただけることに大変ありがたく感謝の気持ちでいっぱいです。

2020年2月に初めて全国結核予防婦人団体中央講習会に参加させて頂き大変貴重な勉強会となり、全国からの参加者皆さんに出会い良い刺激を頂きました。またいつか機会があれば嬉しいです。

私の中で「結核」という病気は、昔の病気で今でもあるということに大変驚きました。そして、今でも世界の死亡原因のトップ10に入っています。

医療や生活水準の向上により薬を飲めば完治できる時代になりましたが昔の病気かと思っていたら大きな間違いだということです。

結核も咳やくしゃみなどの空気感染によりうつります。予防には生後5～7カ月までにBCG接種

が有効です。子供の結核は感染するとすぐに発病しやすく重症化になりやすいと言われています。若い世代にBCG予防接種の重要性を伝えていくのも婦人会の役割だと思っています。

去年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止による活動自粛を受け、何も出来なくて一年が過ぎてしまいました。今年度もコロナ収束の兆しが見えない中でありましたが少しずつ活動を再開していこうと思っていました。そんな時、新聞で「シトラスリボンプロジェクト」の記事が掲載されていました。私はこのプロジェクトこそが活動再開の第一歩だと思いました。「シトラスリボンプロジェクト」とは、コロナ禍で生まれた差別、偏見を耳にした愛媛の有志が作ったプロジェクトです。愛媛県特産の柑橘にちなみシトラスカラーのリボンを身につけて「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動です。

リボンやロゴで表現する三つの

輪は、「地域」「家庭」「職場(学校)」を意味しています。

リボンには、新型コロナウイルスに感染された方や、医療従事者を差別から守るという事や、新型コロナウイルスに感染しても「ただいま」「おかえり」と言い合える暖かな心をもって過ごしていこうという思いが込められています。私は「シトラスリボンプロジェクト」に賛同します。多くの仲間とリボンを作ることで再び仲間の輪を広げていきたいと思っています。

「健康の輪」も「三つの輪」も全国の婦人会員皆さんと一緒に大きな大きな輪になれる事を願っています。🍊



## 写真で振り返る 第24回結核予防関係婦人団体中央講習会 (2月1日KKRホテル東京オンライン)

今回は、緊急事態宣言発令中のため講演のみ4題をオンライン配信し、44名の方に視聴いただきました。また、3月末まで動画投稿サイトYouTubeにアップし、319回再生されました。



左上から時計回りに納富氏、座間氏、慶長氏、森氏

講演① (30分)

「新しい結核、新型コロナウイルス診断の遺伝子検査法」栄研化学株式会社取締役常務執行役研究開発統括部長 納富継宣氏

講演② (30分)

「外国生まれの結核患者への療養支援」結核研究所対策支援部保健看護学科科長代理 座間智子氏

講演③ (60分)

「結核の基礎知識とBCG接種」結核研究所名誉所長 森亨氏

講演④ (30分)

「非結核性抗酸菌症ってご存じですか？」結核研究所副所長 慶長直人氏

## 結核予防婦人会研修会のご報告（青森県結核予防会）



青森県結核予防婦人会会長  
種市恭子

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症のため、さまざまな行事の中止を余儀なくされていましたが、青森県総合健診センター（結核予防会青森県支部）のアドバイスを受け、令和3年2月に書面による研修会を開催いたしました。

初めての経験でしたが、取り組んでみて、とても成果が大きいと思えましたので、ご報告いたします。

令和2年度結核予防婦人会研修会の案内を令和3年2月12日に、理事宛に書面研修会の文書をお送りしました。新型コロナウイルス感染がまだ落ち着かないことが大きな理由でしたが、結核関係、その他の資料に加え、付録をお付けして送付しました（写真）。

また、2月25日までに資料を読んだ感想やご意見を返送してもら

い、結核に関する知識を深めていただくことにしました。

\*\*\*\*\*

書面研修会は、長年の各種地域活動の中で、初めての経験ですが、ゆっくり落ち着いて関係資料を読んだり、見たりし、多方面にわたって健康に関する知識を得て、また私にとっては新しい発見もあって、メモを取ったり、赤線を引いたり、長時間学習したように思いました。具体的には、結核予防婦人会の歴史から現在に至るまでの経緯、複十字シール募金のはじまりと由来、そして平成17年に半世紀ぶりに結核予防法の改正により、集団的結核対策から個別的风险に応じた対策により、ツベルクリン反応検査の廃止による乳児



へのBCG直接接種やDOTSを中心とした治療などを知り、過去のレントゲン検診車やツベルクリン反応の大きさの計測、BCG接種のことなど、思い出されました。

結核予防婦人会の一員でもあるのに私は県地婦連の役員になってはじめて結核予防運動について関心を持ち、活動を知ることができ、恥ずかしい限りです。これまで、一般会員の方々は、資料もなく、情報も少なく、複十字って何…？ということで末端まで活動が浸透していません。充実した内容の健康手帳をはじめ、婦人会活動の案内「すこやかに」は、結核予防を中心とした健康づくりに果たす婦人の役割をよく認識するために、とても参考になります。

この度の書面研修を私たちの町でも全会員対象に新年度中に是非実施しなければと決意を新たにしています。この度は書面研修会をさせていただきました結核予防会青森県支部様に心から感謝申し上げます。🐱

### 5月31日は世界禁煙デー

令和3年5月31日（月）から令和3年6月6日（日）は禁煙週間です。今年のテーマは、「たばこの健康影響を知ろう！～新型コロナウイルスとたばこの関係～」でした。

（＜参考＞2021WHO世界禁煙デーのテーマ：Commit to quit）

結核予防会では、例年世界禁煙デーに合わせて、たばこに関する普及啓発を行っていますが、本年は、新型コロナウイルス感染症の拡大の状況を鑑みて、記念イベントの後援を「たばこ健康問題NGO協議会」として行いました（右上）。

また、3密を避けてできる普及啓発活動として、「禁煙ポスター」の作成は実施いたしました（右横）。送料実費（着払による宅配）をご負担いただける方に無償で配布しております。

くわしくは、結核予防会普及広報課（電話03-3292-9288）までお問合せください。🐱



# ✚ 複十字シール運動が始まります

## 運動期間 8月1日～12月31日



昨年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大が止まらず、複十字シール運動を自粛せざるを得ない一年でした。そのような中、公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会の皆さまには、複十字シール運動にお心を寄せていただきましたことを心より感謝いたします。

昨年、新たに結核と診断された患者数は大きく減少しましたが、新型コロナウイルスの感染を恐れての受診の自粛や健診の中止が影響し、一時的に患者の発見が滞っていると考えられています。薬で治る結核で命を落とす人がいないよう、なお一層、結核対策の強化が求められます。

今年も公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会のご後援をいただき、8月1日から複十字シール運動が始まります。昨年同様、運動開始にあたっての各都道府県知事への表敬訪問、結核予防週間（9月24日～30日）にあわせての募金活動等につきましては、皆さまの感染予防を最優先し、各自治体の状況に応じてご協力いただきますよう、お願いいたします。

### ●令和3年度複十字シール ～思いを届ける～

昨年に引き続き、イラストレーターのあさいとおるさんに図案の作成をお願いしました。

人と人が会うことが難しい日々が続いています。“コロナ禍で、どんなに離れていても、どんなに会えなくても、思いは届く”をテーマに描いていただきました。森や海の生き物たちが、私たちの思いをつないでくれています。ブルーを基調としたさわやかで落ち着いた色合いは、私たちの気持ちを優しく包んでくれるようです。

シールを通して、皆様の思いを大事な方たちに届けていただけましたら幸いです。

※大型シール（24枚綴り）と小型シール（6枚綴り）があります。



大型シール（24枚綴り）



小型シール(6枚綴り)

### シールぼうやの仲間がシールになりました！

空に浮かぶ雲をバックにしたシールぼうやとその仲間たち。

今年はシールの粘着性を強化しました。

複十字シールと併せて、ぜひ、マスクに貼ってお楽しみください。



✚公益財団法人結核予防会・募金推進課

## 訃報



公益財団法人結核予防会名誉顧問 島尾忠男先生が、3月28日午後11時24分、慢性呼吸不全急性増悪のため東京都の病院で逝去されました。享年96歳でした。

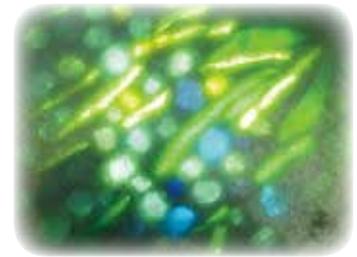
島尾先生は、東京都出身。東京大学医学部医学科卒業後、結核予防会に入職、結核研究所所長、結核予防会理事長、会長、評議員会会長を経て平成28年から名誉顧問となりました。

厚生省結核予防審議会委員や国際結核予防連合（IUAT）理事、世界保健機関（WHO）執行理事などを歴任し、エイズ予防財団の理事長なども務められました。昭和59年に保健文化賞、昭和63年にWHO「ヘルス・フォー・オール」（結核対策）、平成11年に同（喫煙対策）のメダル、平成28年に山上の光賞を受賞され、日本と世界の結核対策・喫煙対策にご尽力されました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

### 島尾忠男先生を偲んで

公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会  
会長 木下 幸子



4月8日、突然の訃報に接し、心より哀悼の意を捧げます。

私が、先生と最後にお会いしたのは、平成28年2月4～5日に神奈川県で開催された、第67回結核予防全国大会で、全国結核予防婦人団体連絡協議会の懇談会の席でご一緒し、また翌日の特別講演で、「結核サナトリウム療法と神奈川県湘南地方」を拝聴したときでした。折に触れ、婦人会活動を見守っていただいていたことを最近のこのように思い出されます。

また、平成29年3月に東京フォーラムで開催された国際結核肺疾患予防連合アジア太平洋地域学術大会（APRC2017）で、全体セッション「温故知新」というプログラムで講演される予定でした。結核対策・研究について1940年代以降、近代的結核対策の導入以来のほぼ全時代を実体験でカバーする先生の研究歴にもとづくお話と伺っていました。国際学会にもかかわらず、日本語で拝聴できることを楽しみにしていましたが、その直前に体調を崩され、直接お話を伺えなかったことは、大変残念でした。

また、福岡で開催された第66回結核予防全国大会の研鑽集会では、島尾先生からご提案いただいた「紙芝居結核裁判」を再現する機会に恵まれました。私たちが忘れてはいけないこと、結核対策は研究者・行政担当者だけでなく、一般市民にも予防活動が定着するようにしてきた積み重ねについて、一般の、ボランティア活動をする婦人会員にもわかりやすく伝えてくれるものでした。結核予防に関する啓発の大切さを私自身紙芝居の登場人物青井太子さんを演じることで、その後の活動の軸になっていることをこの紙面を借りて、先生に報告したいと思います。

島尾先生のご功績には遠く及びませんが、私たち婦人会員なりに、先生から学ばせていただいたことを一つずつ咀嚼して、今後の婦人会活動に生かしていきたいと思っております。長きにわたり、私たちを導いてくださり、本当にありがとうございました。

## ちふれ化粧品は・・・

「誰もが手に入れやすく、安心してつかえる化粧品を。」という思いを込めて創り出した私たちの化粧品です。



### ちふれが、約束すること。

- **高品質・適正価格であること。**  
製造や販売にかかる余分なコストを削減して、高品質を適正な価格でお届けします。
- **無香料・無着色であること。**  
肌によさしくありたい。だから、ちふれのスキンケアはすべて無香料・無着色です。
- **全成分・分量・配合目的を公開すること。**  
品質の確かさや商品の安全性だけでなく、自分の肌に合った化粧品の内容を知っていただくためにも、すべての製品の全成分・分量とその配合目的を公開しています。
- **製造年月をすべての容器に表示すること。**  
誰にもわかりやすく、安心して使えるように、製造記号を製造年月で表示しています。
- **環境問題に配慮すること。**  
毎日使う化粧品だからこそ、環境を大切にしたい。ちふれは、詰替化粧品や植物由来容器の導入などで、環境問題に配慮しています。



## ちふれ

あなたの、健康のそばに。



## しあわせは、明日も健康であること。

人々の健康意識を高めること、日々の生活をOTC医薬品でサポートすること。  
それが「セルフメディケーション」をスローガンに掲げる私たち大正製薬の使命。

OTC医薬品のリーディングカンパニーとして、

より優れた医療用薬品の開発に力を入れるチャレンジャーとして、  
常に「生活者の健康でより豊かな暮らし」の実現を目指しています。